



# くまよう通信

No. 9

令和4年1月11日

埼玉県立熊谷特別支援学校

## 『渋沢栄一翁から学ぶべきこと』

教頭 渡邊 文俊

皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスの影響により、残念ながら多くの行事が中止または延期となってしまいました。まだまだオミクロン株の感染拡大が心配される中であります。しかし児童生徒たちにおいては、大きな事故もなく落ち着いて学習に向き合えた一年であったと思っています。これも保護者の皆様の御協力あってのことと感謝申し上げます。今後も引き続き本校の教育活動に対して御理解と御協力をお願いいたします。

さて、今年には鉄道の開業から150年ということになります。鉄道は日本の文化・経済に大きな役割を果たしてきました。その鉄道の開業に関して大きく貢献したのが、昨年大河ドラマ『青天を衝け』の主人公「渋沢栄一翁」です。多くの皆さんも御存知だと思いますが、埼玉県深谷市出身の偉人でもあります。この「渋沢栄一翁」が生涯にわたって大切にしていた言葉があります。「忠恕の心」「命を大切に作る心」「夢に向かって挑戦する心」の3つです。ドラマを見る中でどれも大切に表現されていました。面白いドラマでしたね。

特に私は本校の児童生徒には「夢に向かって挑戦する心」を、本校で学ぶ中で培ってほしいと思っています。好きなこと興味のあることを見つければ、無限の可能性をもった子供たちだからこそ夢や希望を大きく膨らませ目標に近づけるよう努力するだろうと思います。そのためにも本校の児童生徒にとってICT技術は欠かせない要素とされます。

近年ICT技術の革新とともに、障害を有する児童生徒の社会参加が以前に比べ容易になりつつあります。全国の事例を見ても様々な社会参加がなされています。昨年度からGIGAスクール構想における機器の充実が図られ、本校でも機器が充実し、今までできなかったことや繋がることの可能性が広がってきました。昨年度からは高等部生徒会主体にホームページで表現する機会も増えました。また、授業の中でも様々な工夫で学び方も変わってきています。今後ICT機器の活用等を通し児童生徒の可能性を探り、児童生徒・教職員・保護者の皆様と一体となり、自立と社会参加の実現に向けての取組を行いながら、「夢に向かって挑戦する心」を大切にしていきます。今後もよろしくをお願いいたします。

## 1月の予定

1/1～1/7 冬期休業日

11日(火) 始業式 11:30 下校

12日(水) 短縮日課 11:30 下校

14日(金) 2月分欠食届々切

18日(火) 熊特スポーツクラブ

19日(水) 高等部修学旅行 西武園ゆうえんち他

20日(木) 地域交流(小低) タッパア-

10:30～11:40



24日(月) 学校給食週間～28日

25日(火) 授業参観日

27日(木) ハートフルコンサート

(小) 10:20～11:05 (中・高) 11:15～11:45

28日(金) English Club

31日(月) 高等部入学願書出願期間～2/1

生徒会選挙(高) 9:30～12:00 体育館



## 「もりあがった！たのしかった！リモート交流会！」

12月6日に熊谷市立久下小学校との交流会がリモートで開催されました。久下小の5年生と熊特の5年生との交流会は毎年2回行われていますが、感染症対策のため6月に予定されていた1回目の交流会は中止。そこで、初めての試みでしたが、リモートで行うことにしました。当日は、それぞれの発表会からスタート。熊特はダンス「ソーラン節」を、そして久下小は「キリマンジャロ」の合奏を発表しました。子どもたちはお互いにモニターの画面をじっくりと見ていました。その後は、『久下小〇×クイズ』と『熊特〇×クイズ』で大いに盛り上がり、最後は、久下小の先生が振りを考えてくれたダンス「にじ」を全員で踊りました。モニター越しではありますが、同じ時に同じ活動を行うことで、とても一体感を感じることができた交流会になりました。

(小5 金澤)



## 「小学部 クリスマス会」

12月10日金曜日に、1・4・6年生と2・3・5年生に分かれて小学部のクリスマス会が行われました。ピアノ、ギター、サクソ、ドラムのバンドによるクリスマスの演奏が始まると、子供達は体を揺らしたり笑顔になったり、生演奏にうっとり。次に、講堂が暗くなり、プロジェクションマッピングの映像と、天井に映るイルミネーションの光が映し出され、目をキラキラさせて見とれていました。

最後にサンタさんからプレゼントのメダルを首からかけてもらいました。久しぶりの他学年の友達との交流に、楽しいひと時を過ごした小学部の子供達でした。

(小学部 宮前)

